

平成26年度第2回広島県道徳教育研究協議会（全体報告会）実践報告

未来から現在（いま）を考え、
将来の夢の実現を図る力の育成に向けた
道徳教育の創造



広島県立尾道商業高等学校

学校紹介

- 尾三地区で唯一の商業の単科校
- 商業科2クラス ビジネス会計科1クラス 情報管理科2クラス
全校生徒 578名（平成26年5月1日現在）
- 広島県の商業高校拠点校
- 部活動加入率⇒ 現在89%
- 本校集大成の学校行事 「尾商デパート」開催



尾商道徳教育の全体計画より学年重点目標

1年生 自 覚

尾商生としての自覚を持たせ、地域から信頼され期待される生徒を育成する。

- 仲間を尊重する態度を養う ●お互いの学習環境を醸成する
- 健康に留意する態度を養う

2年生 責 任

尾商の中堅学年としての責任ある行動が取れる生徒を育成する。

- 仲間を理解し、信頼し、協力する ●自己の価値観や勤労観を養う
- 心身を鍛える態度を養う

3年生 誇 り

尾商の最高学年として誇りが持てる生徒を育成する。

- リーダー・フォロアーシップを発揮できる場を提供し、生徒間の絆を深める
- 自律的自主的な学習集団を醸成する ●逞しい尾商生を表現する

尾商道徳教育の全体計画より学年重点目標

学級活動

学校生活に関する諸問題の解決や仕事分担処理などを自主的に行い、学級の一員としての自覚を深める。

生徒会活動

合唱祭、体育祭を通じて仲間を尊重する態度を養う。

学校行事等

学校生活に秩序と変化を与える集団行動によって、集団への所属感を深める。尾商デパートを通じて、他者と協力し合う態度を養う。

共感する力や
思いやりの心

協力し合う態度

集団や社会の一員
としての自覚と責任

【研究主題】

未来から現在（いま）を考え、
将来の夢の実現を図る
力の育成に向けた
道徳教育の創造

～道徳教育の全体計画の効果的な活用をととして～

【設定理由】

- 自ら考えて行動できる
- 尾商デパートでお客様に信用していただける商品を販売
- 生徒自身が信頼される人になることを目標

これらの目標達成のためには



普段の考え方や生活態度が大切

生徒一人一人に役割を持たせ、責任を持たせることで、目標達成できるのではないか。

全学年

校外学習・クラス対抗合唱祭

3年生

体育祭での創作ダンス

2年生

修学旅行での進路別研修に積極的に参加

1年生

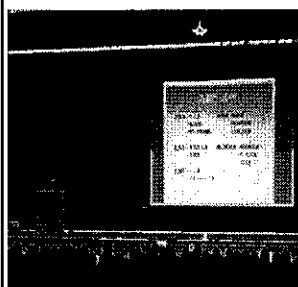
インターンシップへの参加（2泊3日）

さらに「尾商デパート」を
本校の集大成の行事として位置づける

他者と共感する力や思いやりの心、
協力し合う態度を育て、
集団や社会の一員としての
自覚と責任を育む道徳教育を確立

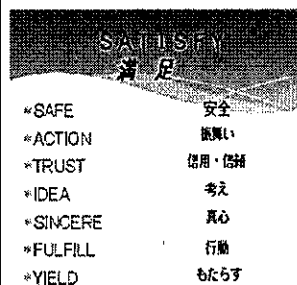
【取組内容】

尾商デパート全校説明会（4・30）



第3回尾商デパート
クラスごとの店舗運
営で実施、デパート開
催の趣旨を全校生徒に
説明

【模擬株式会社・尾商デパート 社是 SATISFY】



第1回尾商デパートの
社是「HOSPIT
ALITY（おもて
なしの心）」に加
えて、よりよい接客に
取り組むことを提案
した。



【全学年倉敷校外学習（5.2）】



グループごとにテー
マを決め、
店舗の魅力発見や、
商品陳列の方法、
お客様とのコミュ
ニケーションなど、
様々な視点を持って
見学

【セブンイレブンの経営から学ぶ（6.16）】



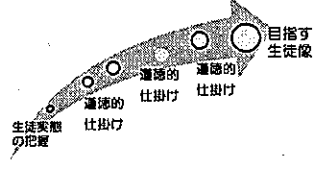
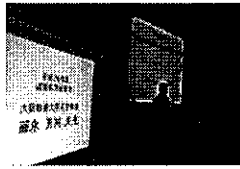
1年生

基本四原則や店舗設計
効果的な陳列方法
ビジネスの心構え

など

普段利用するコ
ンビニに様々な
工夫や戦略があ
ることを知って
驚いた。

【道徳教育 教職員研修1 (7.25)】



講師：大阪教育大学 名誉教授 藤永 芳純 先生
～「高等学校における道徳教育の推進について」～

※「行動・もの」に添えられた「こころ」について考える。
「こころ」を考えるのが「道徳」⇒「こころ」をどう育てるか

「道徳教育」

※尾商デパートでの「おもてなし」が道徳の「こころ」の行動である。
「こころ」をどのような行動で表現するか？

研究および特色

7月 自転車マナー法令遵守について作文200字
(学校設定科目「尾商学」にて)

8月 「7.25研修まとめ資料」「道徳の全体計画」教職員全員へ
配付

9月16日 商業科会議にて「駐車場の管理人」学習指導案検討会

9月18日 学年会にて 「駐車場の管理人」学習指導案検討会

10月11日 体育祭 3学年全員参加 創作ダンス発表

10月18日～20日

1学年：インターンシップ合宿（みろくの里）

10月22日～24日

2学年：修学旅行

(大学見学・イオンモール茨城県見学・リーガロイヤルホテル実習・
YONEX訪問・TAU販売実習)

【道徳教育 教職員研修2「模擬授業」実施 10.30】



全教職員参加の模擬授業実施

- ①道徳教育全体計画を配付
- ②各学年の重点目標を再確認
- ③ねらい

各学年の重点目標

1年生【自覚】
2年生【責任】
3年生【誇り】

「真心」「信頼」
であることを確認

④模擬授業

全教職員
参加

【公開研究授業 11月14日】

全クラスホームルーム活動にて 道徳授業実施



《読み物資料》

1年生

「夜のくだものや」

2年生

「駐車場の管理人」

3年生

「夢はみんなでかなえるもの」

《授業のねらい》

尾商デパート 開催に向けて、
「真心・信頼」とはどのようなものなの
かについて、深く考える。

「真心・信頼」が「尾商デパート」
でも基本になることに気付かせる。
ペアワークを通して、自分の考えを相
手に伝えるとき、相手の考えを理
解する。



【公開研究授業 11月14日】
全クラスホームルーム活動にて 道徳授業実施
《生徒の感想より》

- 仕事に対してやりがいをもって、それを考え、自分から行動に
起こしたりすると、お客様にもいろいろなことが伝わるし、そ
れが自分に返ってくるのだと感じた。2年生
- 私は、今まで人間関係をうまく保つことが苦手でした。それは
自分が相手を評価するばかりで相手のことをよく考えていなか
ったのがいけなかったと思った。これからは、もっと相手を支
援していきたいと思う。3年生



道徳をやることの4つの効果

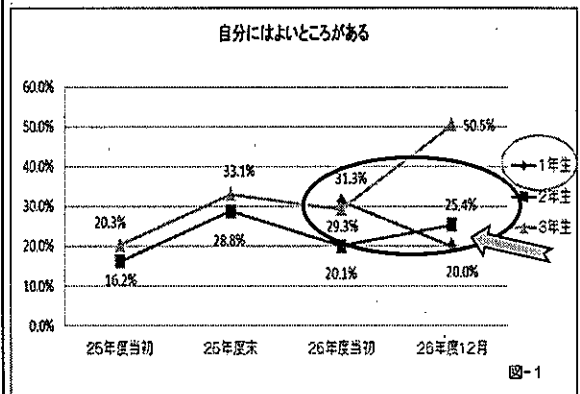
(藤永先生の講話より)

- ①授業規律が確立でき、落ち着いた態度になる。
- ②学習の意味を考え、人としての生き方の意味を
学べる。
- ③真理真実を学びたいという心や探究心が育つ。
知ったかぶりをしない、誠実さも育つ。
- ④向上心や学習意欲が上がり、成績が上がる。

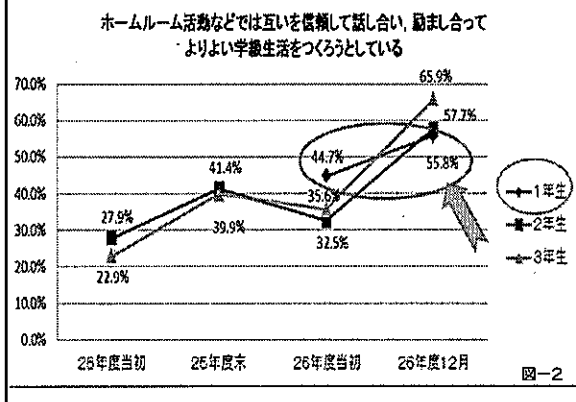
【2学期末以降】

- ・12月6日 } 第3回「尾商デパート」実施
7日 }
- ・12月 「尾商デパート」事後アンケート
- ・12月 「生徒意識調査」
- ・12月 尾業デパート振り返り①②
- ・2月 学習成果発表会

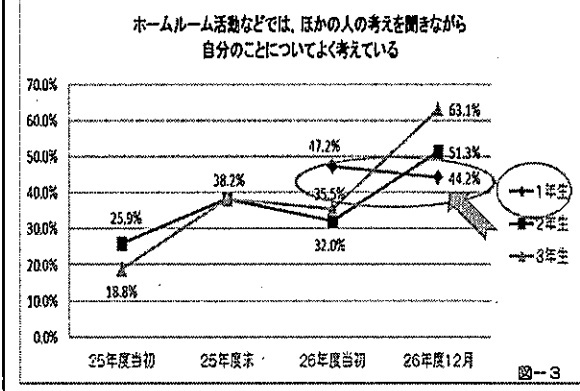
生徒意識調査より平成25年当初～平成26年12月(「そう思う」の数値)



生徒意識調査より平成25年当初～平成26年12月(「そう思う」の数値)



生徒意識調査より平成25年当初～平成26年12月(「そう思う」の数値)

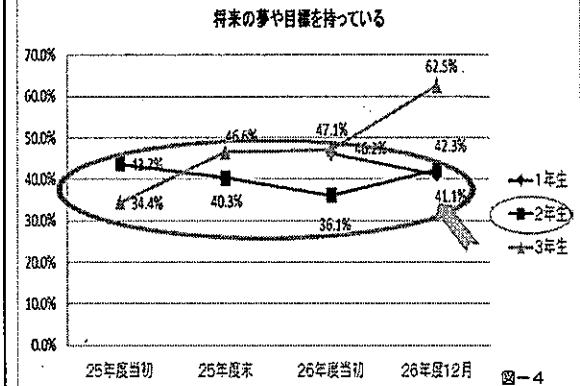


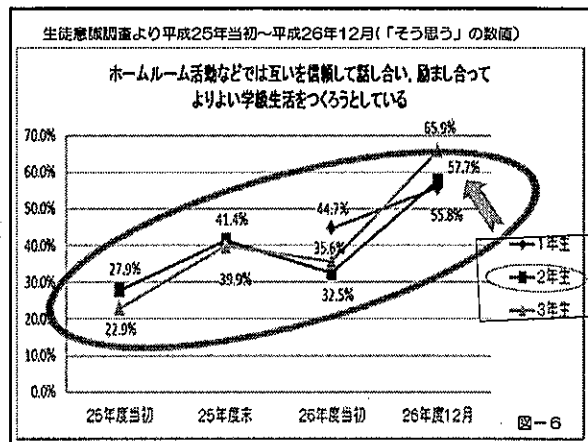
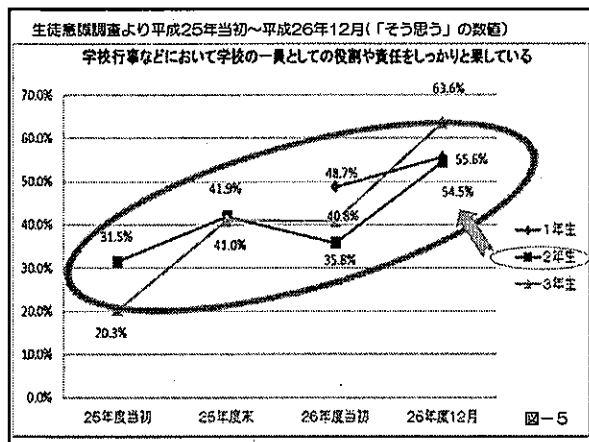
＜成果と課題＞

1年生 尾商生としての 自覚

- 学級内でクラスメイトとの信頼関係ができ、互いに尊重し合いながら高め合える人間関係が出来つつある。
- 自分のことについて考えたり、自分の考えを相手に伝える時間をホームルーム活動等に取り入れ、生徒の自己肯定感を高めていく。

生徒意識調査より平成25年当初～平成26年12月(「そう思う」の数値)





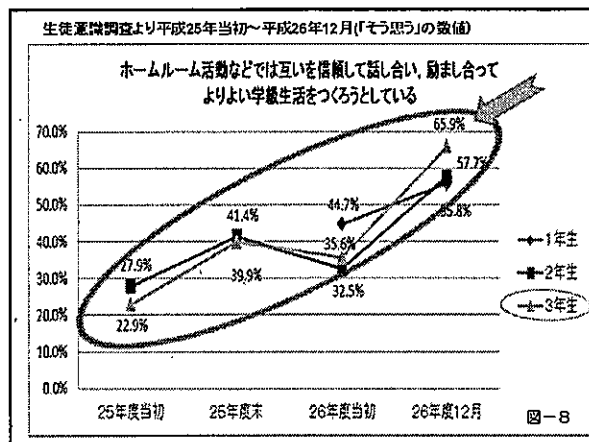
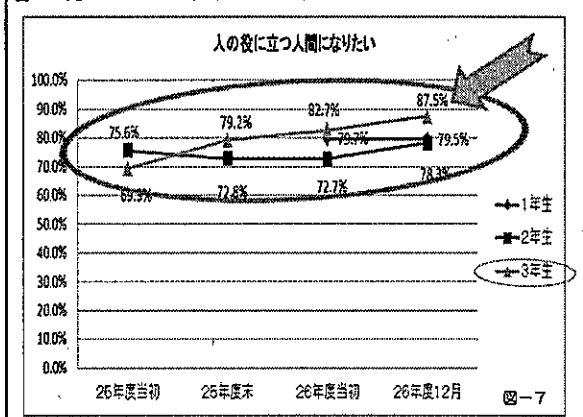
<成果と課題>

2年生 中堅学年としての自覚と責任

●進路決定に向け準備を進めている生徒が増加しつつある。3年生の進路決定に向け継続した指導を行っていく。

●クラスでの信頼関係が深まり、生徒それぞれが自分を安心して出せる雰囲気醸成されていると考えられ、主体的にホームルーム活動等に参加する態度が育成されている。

生徒意識調査より平成25年度当初～平成26年12月



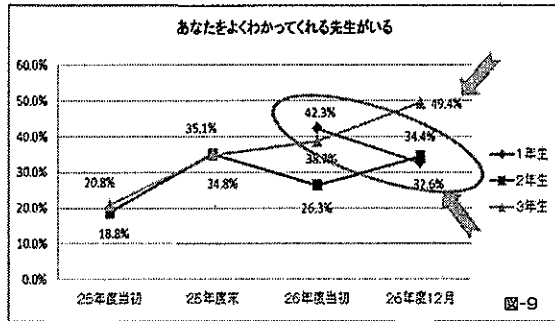
<成果と課題>

3年生 最高学年としての誇り

●「尾商デパート」をはじめとする学校行事等への積極的な参加により、他者と共感する力や協力し合う態度が育成され、集団や社会の一員としての自覚と責任を果たそうとしている生徒が増えていることが同える。

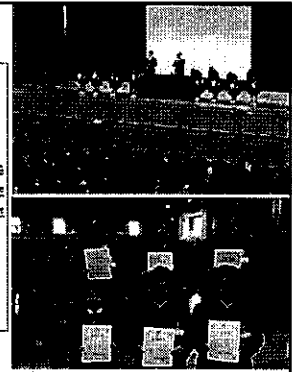
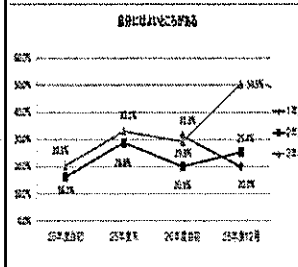
●生徒の多くが最高学年として、「尾商デパート」では自分の仕事を理解し、確実にやり遂げた結果このような数値が出たのではないかな。

わかってくれる先生がいる



課題 → 特に1年生への生徒理解

自己肯定感を育む



- 安心して生徒が自分の考えを言えるクラスの雰囲気づくり
- 継続して全校集会での検定取得表彰
- 真面目に頑張っている生徒への教員の声掛け

道徳教育を推進して良かった点

- 生徒が立ち止って仲間や自分を振り返る時間ができた。
※「自分」と「他の人」「社会」とのかかわりを学ぶ
- 指導案検討において、どうしたら生徒に教員の思いが伝わるか学年会や全体で思考できた。
※生徒は発達段階にあり、よりよくなる可能性を秘めている
※目指す生徒像の明確化→教職員間の意識の共有

道徳教育を推進して良かった点

- 道徳の授業を通して、クラスのまとまりが進んだ。
- いつもは自分のことばかり主張する生徒たちだが、他者との関わりについて考える姿を授業で見ることができた。
- 尾商デパートの準備では、生徒が互いによく話し、物事を決めていた。
- 普段の授業のなかで、道徳的価値を意識するようになった。
- 道徳教育を意識した教育活動ができるようになった。

ご清聴ありがとうございました

第3回尾商デパート
参 考 12月6日(土)
12月7日(日)

来場者数 **2,683名**
昨年度比 **約30%増**



平成26年度第2回広島県道徳教育研究協議会実践報告

広島県立尾道商業高等学校

平成26年度 尾道商業高等学校 道德教育全体計画

関係法規 日本国憲法 教育基本法 学校関係諸法規 学習指導要領	教育目標・校訓 「正義・努力・健康」 ミッション ○ 創立126年の伝統校としてのビジネス教育を展開し、地域に信頼される学校にする。 ビジョン ○ 未来から現在（いま）を考える。 ○ ソーシャルコンプライアンスの視点で考える。 ○ 8S（整理、整頓、清掃、清潔、躰、接遇、シンプル、スピード）活動を展開する。	生徒の実態 ・ 素直で、多くの行事や検定等に真剣に取り組める生徒が多い。 ・ クラブ加入率は、80%弱である。 ・ 挨拶ができる生徒が多い。 ・ 学校生活が落ち着き、問題行動が減少した。 ・ 掃除の徹底、交通マナー向上など、改善すべき点がある。
道德教育の目標 1 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う 2 豊かな心を育む 3 伝統的な文化を継承し、発展させ、さらに個性豊かな文化の創造に努める人間を育成する 4 民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成する 5 平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成する 6 未来を拓く主体性のある人間を育成する 7 道德性を養う		保護者の願い ・ 基礎学力をつけ、マナー指導を徹底し、進路先で対応できる力をつけてほしい。 ・ 挨拶や身だしなみ、コミュニケーション能力など、基本的な生活習慣を身につけて欲しい。 ・ 何事に対してもやり通すのできる忍耐力と健康な身体を育てて欲しい。

道德教育の推進体制 道德教育推進委員会 ・ 校長、教頭 ・ 各学年主任 ・ 各分掌主任 ・ 各教科主任	道德教育の重点目標 1 模擬株式会社「尾商デパート」等の指導を通して、挨拶、身だしなみ、マナー指導の徹底を行い、人格形成を図る。 2 より高い、そしてより多くの資格取得と検定合格の推進を図り、社会人としての資質を身につける。 3 地元産業界と連携した“生きた実務教育”の実践を通して、体験活動の機会を増やし、思いやりや他者への畏敬の念、職業に対する考えなど、自らの生き方について考えさせる。 4 『クリーン尾商』を目指した快適な学習環境の整備を行い、生徒の豊かな心を育てる。 5 商業高校として特色ある「キャリア教育」を展開し、社会に貢献できる人間を育成する。
--	---

各学年の重点目標		
1 学年【自覚】	2 学年【責任】	3 学年【誇り】
○ 尾商生としての自覚を持たせ、地域から信頼され期待される生徒を育成する。 ・ 仲間を尊重する態度を養う。 ・ お互いの学習環境を醸成する。 ・ 健康に留意する態度を養う。	○ 尾商の中堅学年としての責任ある行動が取れる生徒を育成する。 ・ 仲間を理解し、信頼し、協力する。 ・ 自己の価値観や勤労観を養う。 ・ 心身を鍛える態度を養う。	○ 尾商の最高学年として誇りが持てる生徒を育成する。 ・ リーダー・フォロアーシップを発揮できる場を提供し、生徒間の絆を深める。 ・ 自律的自主的な学習集団を醸成する。 ・ 逞しい尾商生を表現する。
学年の取り組み	学年の取り組み	学年の取り組み
・ 挨拶、掃除の徹底 ・ インターンシップ合宿の実施 ・ 学習ガイダンス	・ 挨拶、掃除の徹底 ・ 自学自習の定着 ・ インターンシップの実施 ・ 上級学校訪問の実施	・ 挨拶、5S+1Sの徹底 ・ 部活動、学校行事でのリーダー性の発揮 ・ 模擬面接指導の実施 ・ 進路目標の達成に向け、自ら行動できる生徒の育成及び指導の徹底

各教科	総合的な学習の時間	特別活動	部活動	家庭・地域との連携
【国語】適切に表現し理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、言語文化に関する関心を深める。 【地理公民】人間としての在り方、生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 【数学】事象を数学的に考察し、冷静に判断する力を養う。 【理科】環境に対する関心を高め、科学的な生死感、自然観を育成する。 【保健体育】健康の保持と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。 【芸術】感性を高め、豊かな情操を培い、個性を尊重する態度を育てる。 【外国語】異文化を理解し、国際平和を構築する態度を育てる。 【家庭】人間の健全な発達と生命の営みを理解し、生活の充実向上を図る態度を育てる。 【商業】社会生活、職業生活におけるモラルやマナーなどの指導を通しての倫理観の育成に努める。	科目「課題研究」の中で、商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、問題解決の能力や自主的、創造的、協同的な学習態度を育て、自己のあり方生き方を考えさせる。	【学級活動】学校生活に関する諸問題の解決や仕事分担処理などを自主的に行い、学級の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする実践力を身につける。 【生徒会活動】折鶴祭、体育祭を通じて集団の一員として協力する心と仲間を尊重する態度を養う。 【学校行事等】学校生活に秩序と変化を与える集団行動によって、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する態度を養う。	体力、忍耐力、協調性を養い、自己の個性や能力を伸ばすとともに、自主的、自発的に行動する態度や習慣及び責任感を身につけさせる。又、集団の決まりを守り、所属感や連帯感を養う。	地域に信頼される学校、地域に根ざした学校づくりを進め、モデル授業、出前授業、尾商交流館の活用を通じ、家庭、地域ぐるみの啓発に努める。また、就業体験、校外学習、校外清掃活動、経営実習など、体験的な活動を通して生徒の規範意識を高め、地域社会の一員として生きる力を育てる。